

報告日：平成30年12月26日

平成30年度 事業報告書

景観整備機構・まちづくり委員会

副代表・委員長 塩見 寛

事業名等	事業概要	
	実施内容	進捗状況
【自主事業】		
①地域文化財専門家・育成研修	隔年実施。H29 実施したため、H30 は実施しない。	実施しない
②地域文化財専門家・ステップアップ研修	修了生を対象に、2 回実施する。受講料で実施。 受講料 3,000 円×10 名×2 回	焼津・法華寺修理 現場の状況により H31.4.7 実施予定 (来年度事業)
③静岡県ヘリテージセンターSHEC の運営	H25 年 9 月に設立された静岡県ヘリテージセンター、文化財建造物の維持保全・活用のため、建築士・職人・行政等のネットワークを構築し、東・中・西ブロックに窓口を設置し対応している。 ・運営会議 年 1 回 建築士会全国大会に合わせて開催される全国ヘリテージマネジャー大会に参加する。 ・第 6 回全国ヘリテージマネジャー大会(さいたま市 10/25) 参加 平常時及び災害時における歴史的建造物の調査及び情報共有等のため、日本建築士会連合会と日本建築学会が協定を結び、学会の歴史的建築総目録 DB を建築士会が運用できることとなった。 ・運用のための周知・連絡会議の開催 年 1 回	実施しない (来年度は早期に実施する) 2 名参加 H31.1.24 実施 H31.2.11 開催
④SHEC によるまちづくり会議	SHEC 構成員、建築士、職人及び行政職員を対象に、歴史まちづくり、景観まちづくりの推進を図るため、町並みまち歩き、まちづくり講演、SHEC の活動報告、意見交換等を開催する。 ・2 月頃に 1 箇所で開催する。 「近現代建築緊急調査事業」 (戦後 1945 年～2000 年に完成した建築を対象) 文化庁→日本建築士会連合会→本会に依頼 H28・29 神奈川県、奈良県で実施。H30・31 静岡県、鹿児島県	日本建築士会連合会から本会に調査協力依頼有 連合会が調査員に直接依頼
【受託事業】		
①文化庁・日本建築士会連合会から受託	主要な 10 市 毎号 1 頁。2018 年夏号で第 83 回。	掛川市、三島市 伊豆の国市 実施中
【その他の事業】		
①景観行政団体への働きかけ	6 回開催(6,8,10,12,1,3 月)	7/3、9/3、11/5、 12/6、1/24
②「建築静岡」景観整備機構・瓦版連載	士会連合会主催の全国まちづくり会議&全国まちづくり委員長会議への出席	H31.2.1,2
③景観整備機構・まちづくり委員会		8/3～9/3 募集したが、応募 0 実施しない
④全国まちづくり委員長会議	本会会員が参画する地域貢献活動を支援するために、活動資金の一部を助成 地域貢献活動助成した活動団体の活動発表会を開催 2 月頃、「SHEC によるまちづくり会議」と合同で開催	
【地域貢献活動事業】		
①地域貢献活動助成		

②地域貢献活動発表
会

--

--